

科目名	社会福祉演習Ⅲ H					単位	2.0
担当教員	中神 洋子						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3242

●授業のテーマ

1. グループワークの総まとめを形に残すための工夫をする。
2. 福祉とは何か？各自の研究テーマを深め「卒論」として仕上げる中で考える。
3. 効果的なプレゼンテーション能力を身につける。

●到達目標

- 1) 企画する力、計画の運営や修正する力がつく。
- 2) 人とのコミュニケーション能力の向上や、協働して学び合う喜びを実感する。
- 3) 視野を広げて物ごとを見る力が向上する。

●学習内容(授業概要)

演習Ⅰ・Ⅱで構築してきた、または新しく選んだ各自の研究テーマを、更に深めてゆく。その成果を、個別の卒論指導時間や、演習仲間とのグループ討論等を参考にし、卒論の形にまとめ上げてゆく。又前期には、演習Ⅰ・Ⅱで話し合い決定したグループ研究のテーマを押しすすめてゆき、何らかの形でその研究成果をまとめ社会福祉学会などで発表する。今年度も、昨年のゼミに対する各自のオーナーシップ感覚を大切にし、何ごとにも（例：実習、サークル活動、ボランティア活動、国内外でのワークショップ、講演会、スタディーツアー参加、国際試験対策、そして就職活動）積極的にとりくみ、同朋大学社会福祉学部での最終学年を有意義に過ごすことを心がける。

●学習内容(授業計画)

1. 春休みの活動報告、ゼミ合宿での各自のミッションの発表
2. 一年間の目標と計画作成
3. 各自の研究テーマの確認
4. 各自研究（冬・春休みの段階での）の報告と討議
5. 卒業論文全体の構成・目的の設定
6. グループ研究の目的設定と予定
7. グループ研究①各サブグループによる発表とディベート
8. グループ研究②討議とまとめ
9. 卒論：全体の構成、デザインの確認とゼミメンバーによる意見交換
10. 卒論：議論・内容のポイントについての再確認
11. アンケート調査・インタビュー調査などの目的と内容
12. アンケート調査・インタビュー調査などのデザイン
13. 調査対象者（機関・施設 etc）との連絡等事務的手続き完了
14. 夏休み中の課題について。前期のまとめとふりかえり。
15. 3年生との合同キャンプ and 合同ゼミ

番外① 8月中に卒論に関する合宿の実施

② 昼休みと私のあき時間等を利用し、個別面談（※最低のべで24回予定。各回1人あたり1時間～）

●準備学習・事後学習の内容

準備：テーマ周辺の学習を行っておく。

事後：テーマに関する議論のレポートをまとめ、コメントを書く。

●成績評価方法・基準

平常点（授業への積極的な参加、レポート、
研究発表等）（60%）と課題レポート（40%）。

●テキスト（必携）

授業時に指示する

●参考文献／その他

適宜指示する

●履修上の注意

特になし